



2024年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月30日

上場会社名 株式会社アイナボホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7539 URL <http://www.ainavo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部一成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 奥山学志 (TEL) 03-4570-1316
 四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 2024年6月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第2四半期の連結業績(2023年10月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第2四半期	46,160	4.8	1,570	15.2	1,720	13.6	1,078	17.0
2023年9月期第2四半期	44,057	9.7	1,363	△11.7	1,514	△10.4	921	△31.2

(注) 包括利益 2024年9月期第2四半期 1,181百万円(18.6%) 2023年9月期第2四半期 996百万円(△18.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第2四半期	93.25	—
2023年9月期第2四半期	79.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第2四半期	45,255	25,001	55.2
2023年9月期	44,002	24,179	55.0

(参考) 自己資本 2024年9月期第2四半期 25,001百万円 2023年9月期 24,179百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	23.00	—	21.00	44.00
2024年9月期	—	22.00			
2024年9月期(予想)			—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年9月期の連結業績予想(2023年10月1日~2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	92,000	6.9	2,100	18.6	2,300	11.2	1,450	13.8	125.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年9月期2Q	11,647,820株	2023年9月期	11,647,820株
② 期末自己株式数	2024年9月期2Q	82,045株	2023年9月期	82,045株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年9月期2Q	11,565,775株	2023年9月期2Q	11,565,817株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、四半期決算の説明資料を作成しており、四半期決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、461億60百万円と前年同四半期に比べ21億3百万円(4.8%)の増収となりました。

損益面につきましては、営業利益は人件費等の販管費は増加したものの売上総利益率の改善により、15億70百万円と前年同四半期に比べ2億6百万円(15.2%)の増益、経常利益は17億20百万円と前年同四半期に比べ2億6百万円(13.6%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は10億78百万円と前年同四半期に比べ1億56百万円(17.0%)の増益となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

(戸建住宅事業)

戸建住宅の市況につきましては、住宅リフォーム市場の景況感は概ね前年並みで推移しましたが、新築住宅の着工数につきましては、貸家は前年比微減で推移しているものの、戸建分譲、持家ともに前年割れが常態化しており、今後さらなる低水準での推移も懸念される状況となりました。

このような事業環境のもと、タイル及び建材関連販売につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、住宅向けの自社ブランドタイル及び内装建材の販売が増加したことによるものであります。タイル及び建材関連工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、サッシ工事及びタイル工事が増加したことによるものであります。住宅設備機器関連販売及び工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、ユニットバス、キッチン、太陽光発電機器の工事が増加したほか、衛生陶器、エアコンの販売が増加したことによるものであります。

以上の結果、戸建住宅事業の売上高は382億95百万円と前年同四半期に比べ10億97百万円(3.0%)の増収、セグメント利益は粗利率の減少や販管費の増加により17億38百万円と前年同四半期に比べ48百万円(2.7%)の減益となりました。

(大型物件事業)

大型物件事業の市況につきましては、新築マンション着工数や民間非住宅投資のこの1年の累計は前年を約10%下落しており、公共建設投資についても前年並みか若干下回る状況で推移し、回復基調とは言い難い状況で推移しました。

このような事業環境のもと、タイル及び石材工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、前期に子会社化した石材工事会社が連結業績数値に加わったこと、首都圏の大型タイル工事が完成したことによるものであります。住宅設備販売及び工事につきましては、売上高は前年比マイナスで推移しました。その主な要因としましては、集合住宅の着工減や競争激化によるユニットバス工事の受注量が減少したことなどによるものであります。

空調衛生設備工事につきましては、売上高は前年を上回りました。主な要因としましては、コロナ禍後の民間改修工事が再開したことや公共物件工事が順調に進捗したことによるものであります。

以上の結果、大型物件事業の売上高は78億65百万円と前年同四半期に比べ10億5百万円(14.7%)の増収、セグメント利益は、6億2百万円と前年同四半期に比べ2億72百万円(82.7%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ12億53百万円増加し、452億55百万円となりました。これは主として、受取手形・完成工事未収入金等が19億46百万円、のれんが2億23百万円、投資有価証券が2億8百万円増加した一方で子会社株式（投資その他の資産、その他）が8億66百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億31百万円増加し、202億54百万円となりました。これは主として、支払手形・工事未払金等が7億70百万円、短期借入金が7億9百万円増加した一方で、未払費用（流動負債、その他）が6億77百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億21百万円増加し、250億1百万円となりました。これは主として、利益剰余金が7億18百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の連結業績予想につきましては、2023年11月13日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,246,176	10,212,251
受取手形・完成工事未収入金等	14,383,189	16,329,390
商品	905,569	1,023,778
未成工事支出金	2,960,167	2,931,296
販売用不動産	601,624	635,724
その他	1,087,487	1,007,363
貸倒引当金	△17,003	△18,517
流動資産合計	30,167,212	32,121,287
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,313,291	1,291,906
機械装置及び運搬具（純額）	5,689	8,134
工具、器具及び備品（純額）	92,913	96,489
土地	5,145,860	5,130,060
リース資産（純額）	43,821	48,905
建設仮勘定	4,957	498
有形固定資産合計	6,606,533	6,575,994
無形固定資産		
のれん	90,702	314,040
その他	127,115	134,977
無形固定資産合計	217,818	449,017
投資その他の資産		
投資有価証券	2,274,380	2,482,412
長期貸付金	5,000	10,670
退職給付に係る資産	753,878	765,181
繰延税金資産	532,115	216,175
その他	3,561,944	2,744,123
貸倒引当金	△116,337	△109,158
投資その他の資産合計	7,010,981	6,109,403
固定資産合計	13,835,333	13,134,415
資産合計	44,002,545	45,255,702

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	9,100,863	9,871,246
ファクタリング未払金	4,355,684	4,535,240
短期借入金	290,938	1,000,247
リース債務	18,124	20,122
未払法人税等	429,949	305,352
未成工事受入金	1,203,625	912,194
完成工事補償引当金	51,116	54,671
工事損失引当金	47,746	80,666
その他	2,773,082	1,928,887
流動負債合計	18,271,131	18,708,627
固定負債		
長期借入金	171,850	123,750
リース債務	30,079	33,283
繰延税金負債	83,072	99,392
役員退職慰労未払金	357,794	361,016
退職給付に係る負債	100,035	124,822
その他	809,065	803,768
固定負債合計	1,551,896	1,546,032
負債合計	19,823,027	20,254,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	896,350	896,350
資本剰余金	1,360,916	1,360,916
利益剰余金	21,314,702	22,033,516
自己株式	△33,652	△33,652
株主資本合計	23,538,316	24,257,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304,945	430,391
退職給付に係る調整累計額	336,255	313,520
その他の包括利益累計額合計	641,201	743,911
純資産合計	24,179,517	25,001,041
負債純資産合計	44,002,545	45,255,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年10月1日 至2024年3月31日)
売上高	44,057,131	46,160,559
売上原価	37,849,408	39,448,661
売上総利益	6,207,722	6,711,897
販売費及び一般管理費	4,844,249	5,141,628
営業利益	1,363,473	1,570,268
営業外収益		
受取利息	5,055	1,212
受取配当金	16,370	19,973
仕入割引	56,880	62,060
不動産賃貸料	53,174	57,635
その他	49,078	39,638
営業外収益合計	180,558	180,520
営業外費用		
支払利息	6,134	6,716
支払手数料	2,308	3,081
不動産賃貸原価	19,042	19,372
その他	1,729	758
営業外費用合計	29,214	29,928
経常利益	1,514,817	1,720,860
特別利益		
固定資産売却益	—	2,432
特別利益合計	—	2,432
特別損失		
固定資産除却損	3,679	204
抱合せ株式消滅差損	11,264	—
特別損失合計	14,943	204
税金等調整前四半期純利益	1,499,874	1,723,088
法人税、住民税及び事業税	447,917	359,815
法人税等調整額	130,245	284,721
法人税等合計	578,163	644,536
四半期純利益	921,710	1,078,551
親会社株主に帰属する四半期純利益	921,710	1,078,551

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	921,710	1,078,551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101,240	125,445
退職給付に係る調整額	△26,668	△22,735
その他の包括利益合計	74,571	102,710
四半期包括利益	996,281	1,181,261
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	996,281	1,181,261
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、当社の非連結子会社であった株式会社ミックは、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,859,498	37,197,632	44,057,131	—	44,057,131
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	1,333	1,333	△1,333	—
計	6,859,498	37,198,966	44,058,465	△1,333	44,057,131
セグメント利益	329,959	1,786,150	2,116,109	△752,636	1,363,473

(注)1 セグメント利益の調整額△752,636千円はセグメント間取引消去135,553千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△888,190千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年10月1日至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,865,008	38,295,550	46,160,559	—	46,160,559
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3,258	2,597	5,856	△5,856	—
計	7,868,267	38,298,148	46,166,415	△5,856	46,160,559
セグメント利益	602,878	1,738,068	2,340,946	△770,678	1,570,268

(注)1 セグメント利益の調整額△770,678千円はセグメント間取引消去139,335千円と各報告セグメントに配分していない全社費用△910,014千円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。